

2017年度吹奏楽コンクール課題曲『インテルメッツォ』  
本邦初演！ 保科洋作曲 吹奏楽版  
『巫女の舞』独奏ホルンと吹奏楽のための



ホルン 辻浩二 Kouji Tuji

アルビレオウインドアンサンブル  
第3回演奏会

# ～保科洋の世界Ⅲ～



指揮 保科洋 Hiroshi Hoshina

碧空の翼 (2016) / 保科洋

*Wings to the azure sky / Hiroshi Hoshina*

平成29年度全日本吹奏楽コンクール課題曲

インテルメッツォ (2016) / 保科洋

*Intermezzo / Hiroshi Hoshina*

風紋～原典版～ / 保科洋

*Fûmon(Original Version) / Hiroshi Hoshina*

ジブリ・メドレー / 久石譲 / Arr. 真島俊夫

*Ghibli Medley / Joe Hisaishi / Arr. Toshio Mashima*

巫女の舞～独奏ホルンと吹奏楽のための (2017) / 保科洋

*Miko Dance for Horn in F and Wind Orchestra / Hiroshi Hoshina*

バレエ音楽「白鳥の湖」より / チャイコフスキー / Arr. 保科洋

*Swan Lake / P.I. Tchaikowsky / Arr. Hiroshi Hoshina*

2017年 **10月22日**(日) 開場 / 13:30  
開演 / 14:00

伊丹アイフォニックホール

■ 一般：¥1,500

■ 高校生以下：¥1,000

主催 / アルビレオ ウインドアンサンブル

後援 / 伊丹市・伊丹市吹奏楽連盟・兵庫県吹奏楽連盟

お問い合わせ / 伊丹アイフォニックホール 電話番号：072-780-2110 受付時間：9:00～22:00 (休館日：水曜日)

アルビレオ ウインドアンサンブル事務局 Mail: takaotp@yahoo.co.jp

# ALBILEO WIND ENSEMBLE 3rd CONCERT

## アルビレオ ウィンドアンサンブル

『アルビレオ』とは、白鳥座の連星(アルビレオ)にヒントを得て作曲された保科洋作品「アルビレオ」に由来しています。吹奏楽演奏において、保科洋氏の「エネルギー思考に基づく演奏解釈」の実現をめざし、平成25年4月に結成されました。小・中・高等学校・大学の教職員、一般アマチュア演奏家、プロ演奏者を含めた、コアメンバー30余名で活動しています。同年10月には、デビューコンサートとして『加東2013音楽の日』にゲスト出演し好評を博しました。

2016年からは「アルビレオ ウィンドアンサンブル演奏会 in 東条」と題し、加東市の中学校吹奏楽部の皆さんと交流演奏会を行っています。

2017年1月に開催された「保科洋指揮法クリニック2017」のモデルバンドとして出演しています。

## 指揮 保科 洋



1960年、東京芸術大学作曲科卒業。卒業作品にて第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)第1位を受賞。1963年、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、1982年、国立兵庫教育大学着任。2001年、同大学を退官。同大学名誉教授となる。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広く、特に吹奏楽では日本を代表する作曲家で、世界各地で作品が演奏されており、海外でも評価は高い。1991年には、日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を現存する作曲家では最初に受賞している。

また全日本吹奏楽コンクール課題曲は、カンティレーナ(1976年度)、風紋(1987年度)、アルビレオ(1998年度)、今年度のインテルメッツォを含め過去4回委嘱されている。

2009年に、ホルン協奏曲「巫女の舞」がイタリアのポルチア国際ホルンコンクール本選課題曲に選出。世界各国のホルン奏者によって熱演された。邦人作曲家の作品が管楽器の国際コンクールの本選課題曲に選ばれたのはこれが初めて。

また2010年にヤマハ吹奏楽団により初演された「復興」は、吹奏楽コンクールでも多数の団体が演奏し、非常に人気の高い作品。指揮活動もシエナ・ウィンドオーケストラをはじめ幅広く行っているが、特にアマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を40年以上の長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団体で活躍している。

1998年に発表した、認知心理学とエネルギー思考をもとにした演奏解釈法をまとめた『生きた音楽表現へのアプローチ エネルギー思考に基づく演奏解釈法』(音楽の友社)―保科理論―(絶版)は、類書のない理論的音楽解釈法として、アマチュア音楽愛好家はもちろん専門家の間でも評判となった。

このような長年にわたる教育・指導活動が評価され、平成27年度秋の叙勲において「瑞宝中綬章」が授与され、平成28年度には兵庫県から「文化功労章」が授与された。

2017年4月、脳出血により一時、左半身麻痺になるが、努力と情熱で奇跡的な回復をみせている。

兵庫教育大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授、浜松アクト音楽院音楽監督、フィルハーモニックウインズ浜松音楽監督。

## 独奏 辻 浩二 (ホルン)



1975年、京都市芸術大学卒業。同時に大阪市音楽団へ入団。

1976年、日本テレマン協会の東京公演で、バッハ作曲「ロ短調ミサ曲」公演を皮切りに、バッハの古典的ホルンの演奏で高い評価を受ける。

1978年、ドイツ、ケルン音楽大学へ短期留学。北西ドイツフィルハーモニーオーケストラ客演。1980年、バッハ作曲「ブランデンブルク協奏曲第2番」の独奏者として金昌国氏と共演。1983年、宮本文昭氏(オーボエ)、井上直幸氏(ピアノ)らのジョイントコンサートに出演。1993年、京都やまなみホールにてR・シュトラウス作曲、ホルン協奏曲第1番を演奏し好評を得る。

「アンサンブル・ダンツィ大阪」(木管五重奏)主宰。ドイツ、ラインランド州立音楽学校主催のホルン講習会講師(1998年)や、第3回 International Composers Festival (2015年イギリス)ホルン奏者として招聘され、内外で

活躍している。

宮村副司、故真下惇至、エーリッヒ・ペンツェル、故ズデニェク・ティルシャル各氏に師事。

2012年、大阪市音楽団団長に就任直後から団の存続、民営化に尽力。2015年、退職と同時に、顧問就任。

大阪芸術大学客員教授、関西室内楽協会ゼネラルマネジャー。

### 伊丹アイフォニックホール

所在地 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1-3-30 阪急伊丹駅より北へ徒歩約4分 JR伊丹駅より西へ徒歩約7分

受付時間: 9:00~22:00

休館日: 水曜日(水曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月3日)

TEL: 072-780-2110 FAX: 072-780-2120 E-mail: aiphonic@hcc1.bai.ne.jp